

留学報告書

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
留学先国	スペイン
留学期間	2022年 9月～ 2023年 6月
留学時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
帰国年月日	2023年 6月 10日
明治大学卒業予定時期	2025年 3月
留学先大学について	
大学名 (英文・和文)	英文: IE University 和文: IE 大学
所属学部またはコース名	BBA(経営学部)
キャンパスの所在地	マドリード
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦 (Academic Year)	春学期: 9月～ 12月 (期末試験期間: 11月・12月) 秋学期: 1月～ 4・5月 (期末試験期間: 4・5月)
所属学部の学生数	
留学生の割合	81% (交換留学生ではなくスペイン国外からの学生)

留学にかかった費用			
項目	現地通貨 (Euro)	円	備考
授業料	0	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	9355.5	1386,864円	一ヶ月: 1039.5ユーロ、9ヶ月分、 3食付き
食費	800	116,000円	一ヶ月: ユーロ 3食付きの寮だったため、水や外食などの費用
通学費	80	11,600円	一ヶ月: 8ユーロ (秋学期は1学期10ユーロでした)
学校用品	39.8	5,771円	スペイン語の授業のテキスト2冊
教養・娯楽費	100	14,500円	サッカー観戦や美術館、教会の見学、 クラシックコンサート鑑賞
被服費	200	29,000円	防寒具やスポーツシューズの購入
医療費	0	0円	
保険費		141,491円	保険会社: 東京海上日動火災保険 (学校指定) 85,515円 Lymbrokers S.A (学生ビザ申請用) 389.3ユーロ
渡航費		227,958円	往路121,510円 復路106,448円 片道ずつ購入
旅行費		200,000円	留学中に旅した国: スペイン国内、イギリス、 フランス、オーストリア

語学学校	0	0 円	授業料： 宿泊費：
奨学金/助成金		1,104,000 円	奨学金：804,000 円 助成金：300,000 円
その他		円	
合計		1,029,184 円	費用から奨学金+助成金を差し引いた合計

※補足 コロナ禍とロシアとウクライナの情勢による物価高や円安（留学開始時1ユーロ=137円、帰国時1ユーロ=150円）が一気に進んだ背景から過去の先輩方に比べ、とても高い出費になっています。

渡航について

1) 航空券を購入した時期
 留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他（帰国便に関しては2ヶ月半前に購入）

2) どのように購入しましたか？
 Skyscanner で価格を比較して、最終的には Emirates のサイトから購入

3) 渡航経路を教えてください。
 (往路) 成田空港－ ドバイ国際空港 (経由) － マドリード・バラハス空港
 (復路) マドリード・バラハス空港－ ドバイ国際空港 (経由) － 羽田空港

4) 航空券代金
 利用航空会社： Emirates
 往路：121,510 円
 復路：722.27 ユーロ (106,448 円)
 合計：227,958 円

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。
 ・コロナ禍とロシアとウクライナの情勢があり、日本からマドリードへの直行便がなく、価格も過去の先輩方と比べると高くなっていた印象です。
 ・私は2学期間留学し、2学期目のテスト最終日がいつかわからなかったため、渡航のチケットのみ購入し帰国便は帰国2ヶ月半前に購入しました。
 ・コロナ禍の影響で、スペイン大使館が学生ビザの発行に時間を要し、申請の際に渡航の航空券が必要だったので、学生ビザの申請条件を早めに確認し、購入することをおすすめします。
 ・渡航日に関しては、初めに交換留学生向けのガイダンス日が設けられていたので、それに合わせて渡航日を設定しました。
※補足 留学前の在日スペイン大使館での学生ビザの申請時に、今までは必要のなかった医療保険への加入が追加されていました。また、コロナの影響で申請から受け取りに多くの日数を要していました。少なくとも私の周りでは誰も把握していなかったため、私の報告書も含め、ネットにある情報などを頼りに準備していると要件が変わることがあるので、留学が正式に決まったら大使館に直接問い合わせることをお勧めします。

留学中の滞在先について

1) 種類（留学中の滞在先）
 寮 アパート ホームステイ その他（ ）

2) 部屋の形態
 個室 相部屋（同居人数： ）

3) 住居の探し方
 留学先機関が斡旋 自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）

利用交通機関	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間(片道)	地下鉄 (metro) 利用で 25 分、バスでの通学も可能で 25 分	
5) 滞在中の食事について		
【平日】	【休日】	
朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	
昼: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	昼: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	
晩: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	
6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)		
<p>・私は大学が斡旋する寮の中から選び、住んでいましたが、家賃はやや高めでした。周りの交換留学生はほぼ 1 学期のみで、ほとんど自分でアパートを探すか、友人同士でシェアハウスをしていた印象です。</p> <p>・大学で斡旋する寮の中から選ぶ場合、情報が解禁されてからすぐに決定しないと良い物件はすぐに埋まるので気をつけた方がいいと思います。</p> <p>・個人的には寮に住むことで他の学生たちとのコミュニケーションが増え、自身の交友関係を広げるきっかけになったので、よかったですと感じています。</p> <p>・私の寮ではクリスマスに寮が閉鎖され、滞在先探しに苦戦したので、寮を検討するならそこも見ておくと良いと思います。</p>		
現地に関する情報		
1) 留学中は病院にかかりましたか？		
<input type="checkbox"/> はい (利用機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？		
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない		
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？		
家族、友人 (日本や IE、寮)、大学事務室 (ビザに関しては Student service, 授業や履修登録に関しては BBA Office、その他は Asia Pacific Team の事務の方とも話す機会もありました)		
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？		
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない		
5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？		
情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> 友人 <input checked="" type="checkbox"/> ネット (参考サイト:) <input type="checkbox"/> その他 ()	
防犯対策	ヨーロッパは特にスリなどの軽犯罪が多いので、内ポケットを縫ってそこにしまおう、リュックに鍵をかける、貴重品は基本的にすぐにとられる場所にしまわない、夜遅くまで外出する際は寮の友人と一緒に出かけるなどを心がけていました。	
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？		
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？		
参考：数人の友人が置き引き、バッグの強奪、スリに遭いました。警察署に届けても返ってくることはありませんでした。		
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地で利用状況はいかがでしたか？		
パソコン	日本から持ち込んだパソコンを使用しました。大学では紙で資料が配布されることがなく、パソコンで教科書等を読むので必須。	
インターネット	大学、寮に Wi-Fi があり、問題なく使用できます。	
携帯電話	現地で SIM カードを購入し、利用しました (Orange、Vodafone 等で購入可)。スリの被害に遭った時のために、以前使用していたスマートフォンを予備で持	

	ち込んでいました。
9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
<p>・支払いは基本的には1枚のデビットカードを使用していました。SMBC信託銀行のPRESTIAのGLOBAL PASSというカードです。口座に日本円を入れておいて、ユーロが安くなった時にユーロを購入でき、決済時にはユーロ口座から引き落とされるというカードで、現地で口座開設をする必要もなく、日本で準備できるので便利でした。日本円の口座が不足した際は、日本にいる両親に入金をしてもらいました。</p> <p>・現金は日本から持っていきました。キャッシュレス社会ですが、地方や小さな店に行くとカード等が使えないことも多いので多少は準備した方が良いと思います。</p> <p>・デビットカードの他にクレジットカード3枚も所持していました。異なるカード会社を持つためにVisaとマスターカードを持っていました。ネットでの決済では、拒否されることが多かったのでカードは複数持つことをお勧めします。</p>	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
<p>・変換プラグは複数持つていくことをお勧めします。</p> <p>・3食付の寮に滞在していましたが、約1年間いると日本食が恋しくなり、持っていった緑茶のティーパックや非常食のお湯を注ぐと炊けるご飯が重宝しました。日本食スーパーもありますが高価なので、少しは持っていく方がいいと思います。</p> <p>・文房具、ノート等も現地で購入できますが割高でした。</p>	
進路について	
1) 進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (帰国後に休学して就職活動を行い、卒業年度を遅らせて卒業予定)	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
<p>留学が決定した時から、留学に集中するため、また留学後にキャリアへの価値観が変化すると感じていたので留学と就活の両立をすることではなく、帰国後に休学して留学を選択していました。</p>	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	
企業名	(差支えなければご記入ください)
業界	
その企業或いは業界を選んだ理由	
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします (試験対策など)。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	
<p>自分と向き合う時間が多く、自分が何ができて何ができないかや、好き嫌いなどがわかり、留学前に予想していた通り、自身の価値観やキャリア観が変わったので、帰国後に就活を行うことにしてよかったと感じています。</p>	

留学に関するタイムチャート

2021年7月～12月 募集要項公開～選考試験日	<ul style="list-style-type: none"> ・8月と9月頃 TOEFL iBT の受験 ・9月 志望校の決定 ・10月 応募書類の作成・提出 ・11月末 書類先行通過後、面接の練習・面接
2022年1月～4月 合格発表後～出願準備期間	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語 学習の開始 ・3月 パスポートの更新 ・4月上旬 IE 大学の出願ガイダンスに参加 (zoom 形式) ・4月末 IE 大学へ出願 大学が斡旋した寮を見て検討
2022年5月～7月 出願後～渡航の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・寮の決定 ・5月下旬～ 学生ビザ申請のための書類集め ・6月 航空券購入 学生ビザ申請 明治大学での留学生ガイダンス出席 IE 大学の履修登録ガイダンス出席、履修登録
2022年8月 留学開始直前	<ul style="list-style-type: none"> ・8月上旬 大使館で学生ビザとパスポートの受け取り ・デビットカード、クレジットカードの作成 ・荷物の準備
2022年9月 留学開始	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航後すぐ在留資格延長手続きを開始 ・交換留学生用のガイダンスやイベントに参加
2022年10月～12月 留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・11月末 在留資格の更新完了 ・12月上旬 春学期の IE 大学の履修登録 期末試験、プレゼン
2023年1月～4月 留学中 (或いは帰国後)	<ul style="list-style-type: none"> ・明治大学の履修登録 ・帰国便航空券の購入 ・4月 期末試験、プレゼン
2023年5月～6月 留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 期末試験・プレゼン ・サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼道で 120 キロ巡礼
2023年6月～ 帰国後	6月に帰国し、当初の予定通り 1 年卒業を遅らせての就職活動を始めました。

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
海外在住経験のある両親の影響で、幼少期から海外で長期間生活することに憧れを持っており、中学生の頃から、視野を広げ、様々な価値観に触れるために留学したいと考えていました。そんな中、大学1年次の夏頃、コロナ禍で思うような学生生活を送ることができず留学について再び考えるようになりました。長期間の留学がしやすい学生のうちに、また人生の中で大きな決断である就職活動を行う前に留学を経験し、自身の価値観や視野を広げたいと考え、留学を決意しました。	
語学について	
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	1年次から GREAT への参加、公式の TOEFL iBT の問題集、大学で開講された TOEFL iBT の Speaking や Writing の講座に参加
総合的なアドバイス	まずは早めにテストを受けて実力を確認する方が良いと思います。留学後は、相手の意見を聞き、それに対して意見する場面が多いので、Speaking と listening の練習も重点的にした方が良いと思います。また、GREAT で学んだレポートの書き方、語彙などは、レポートを出す機会が多かったのととても役に立ちました。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
IE 大学は MBA や起業家精神の育成で著名な大学であり、経営学を学ぶ身として成長できるいいチャンスだと思いました。自身が目指しているキャリアにとって必要だと感じていた起業家精神の養成や多様性溢れる雰囲気や国際性が IE 大学にはあり、一番成長できる環境だと思い、選びました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	マドリードの IE Tower はビジネス街にあり、新しく、現代的な建物です。地下にカフェテリアやクラブ活動を行う部屋があります。Tower 内には図書館がなく、自習室やコモンスペースのソファやテーブルを利用して自習していました。セゴビアのキャンパスも友人が案内してくれましたが、街並みに合うヨーロッパの古い大学のキャンパスという印象でした。
学生	多様な国籍やバックグラウンドを持った学生が多く、帰国子女のような国際的な学生が多いです。そのため、非英語圏とはいえ、ネイティブレベルで英語で会話ができる生徒が多く、母国語以外の複数言語を話せる生徒もいます。また、明治大学に比べ学生数が少ないので、大学内で学生と顔を合わせる機会が多く、距離感が近い印象もあります。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	希望すれば IE amigo という交換留学生のパートナーが付き、案内や友人を紹介してくれました。また、同じ寮で仲の良かった年下の学生たちも友人たちを紹介してくれ、一緒に行動することが多かったので学年、学部に関係ない交流ができ、1年間いる交換留学生ならではの交流ができたと思います。
留学生との交流	学期開始直後は交換留学生向けのガイダンス、イベントを通して仲良くなるが多かったです。また、交換留学生は Elective の授業を取る人が多く、少人数の授業なので授業をきっかけに交流することもよくあります。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
毎日のように学生向けのイベントを開催しています。クラブ活動に気軽に参加でき、学外から人を招いた講演会で IE 大学以外の起業家や弁護士などの話を聞く機会もあります。	

課外活動について教えてください。
クラブ活動を通して、マドリードの美術館やギャラリーに行くことができました。
一日の課題の量を教えてください。
一日2～3時間ぐらいで、課題と予習をしていました。科目によりますが、予習としてはケーススタディを読むことが多かったです。ケースによっては専門的な語彙が出てきて格闘しながら読んでいました。課題としては、授業を受けて資料を作ったり、意見を書いたりすることもありました。
期末試験について教えてください。
どの授業も必ずグループワークが課されます。グループでのプレゼンやドキュメントを課されるものもあります。それに加えて、通常の試験（パソコンで受ける）もある場合が多く、特に発表の準備やドキュメント提出をいくつもの授業で同時期にやるので期末の時期は時間がなく忙しい印象です。また、中間試験がある授業も多く、同様にグループプレゼンや試験、エッセイを書くものもありました。明治の授業とは違って授業によって始まる週が変わったり、不規則な授業スケジュールになったり（週1の週もあれば週3の週もある）するので、科目の組み合わせで、ずっと試験勉強やプロジェクトに取り組んでいるような月もありました。
留学先で直面した困難（壁）について教えてください。
<ul style="list-style-type: none">・前述の通り IE には多様な国籍やバックグラウンドを持った国際的な学生が多いため、語学力の差についていけず、初めは塞ぎ込んだこともありましたが、受け入れて開き直って自分のできることから努力するようにしていました。・交換留学生は Mandatory (正規学生の必修科目) も Elective (選択科目) も受けることができますが、必修科目を選択した場合、クラスである程度グループが出来上がっている状態に入るため、グループワークのグループを作りづらく、スペイン人だけのグループに入るとスペイン語でしか話してくれないこともありました。・また、2学期間の長期留学の場合、学生ビザの期限が切れる前に在留資格の更新 (NIE カードの作成) をしなければならなかったのですが、市役所や警察署に申請に行くために毎回アポイントを取らなければならず、マドリードに留学している学生などが一気に押し寄せるため、アポイントを取るのにも大変で、かつスペインでは英語が通じる場面はあまりないのでスペイン語で手続きを行う必要がありました。思うようにうまくいかず、どうしていいかもわからず大変でした。同じような方は、渡航後すぐに Student Service など情報を集め、同じような境遇の交換留学生・留学している現地学生と情報交換すること、スペイン語が流暢な友人を頼ることをお勧めします。
これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。
留学は、楽しいことだけではなく困難も多くありますが、振り返ると楽しいことばかり思い出され、自分の成長を感じ、自信につながる経験になります。そして私にとって学生生活の中でも一番の将来を変えるような、自分の人生にとって大きな意味のある充実した時間になりました。卒業時期をずらすことになりましたが、全く後悔していません！もし、少しでも留学に興味があるのなら、ぜひ自分にある大学を探して挑戦してみてください。IE 大学について聞きたいことがあれば、遠慮なく連絡してください！

留学先で履修した授業科目

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先	IE 大学
2) 留学先で取得した単位数	40 ECTS
3) 本学で認定された単位数	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数： 23 ） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）
4) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
Entrepreneurship & Innovation	
科目設置学部	BBA
履修期間	春学期
留学先の単位数	5ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 80 分の授業が、週 1 の時もあれば 2・3、授業がない週もある（全 25 回）
担当教授	PARIS DE L'ETRAZ 先生
授業内容	起業家精神について学び、最終的にはグループで事業を立案して pitch を行う。
試験・課題など	課題はケーススタディか指定の教科書の範囲を読むこと。量が多く、専門的な語彙が多いので苦戦することもあった。中間のグループ課題として、実際の起業家にインタビューして評価を行い、それを発表。IE では起業家を見つけることはそこまで難しいので、正規学生の人脈を借りた。 試験は、中間試験で予習として読んでいたケーススタディや教科書からの選択式問題。 期末試験は全範囲で、内容は同様。記述式の問題もあり。また、期末にベンチャー企業を立ち上げる想定でグループで新規の事業を立案して発表を行う。発表には実際に実業家・起業家を招いて、投資できるような企画かと評価をもらえる。 授業内で pitch の準備が終わることはなく、課外の時間でミーティングや発表練習をすることがあった。
感想を自由記入	先生は元々投資銀行出身でその後さまざまな事業を経て、起業家、実業家として現在も活躍されている。IE での Entrepreneur 関連のイベント、クラブに多く関わっていらっしゃるため、とても実務的なお話や、先生の過去のリアルな経験を聞くことができる。ケーススタディや教科書を読んでも先生の経験からお話をしてくださることもある。授業の前半回はケーススタディや教科書の予習ありきで、解説で授業が終わる。後半回になれば、期末の pitch に向けてグループで話し合いや実際にプロジェクトを進める割合が増える。この授業は正規学生 2 年生の必修のため、すでにできたグループに入る必要があり、会計やマーケティングを実際に扱える生徒も多く、難易度は高いが、この授業を取る交換留学生は多かった。起業家精神にあふれた学生たちと交流できるのでおすすめの授業。
履修した授業科目名②	
Strategy implementation	
科目設置学部	BBA
履修期間	春学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）

授業時間数	1回80分の授業が週1~3回(全15回)
担当教授	JOSE ANTONIO MARTINEZ MARCOS 先生
授業内容	戦略の実行とそのため計画、リーダーシップについて学ぶ
試験・課題など	毎回、ケーススタディや記事を読むことが予習としてあります。 中間課題としては記事を読んでストリーミング配信会社のうち、1社が今後1~2年の間に取るべき戦略の実行計画を策定しパワーポイント形式で提出する。オンライン授業の場合は、読み物を読んで、意見をプラットフォームに書き込むこともあった。 グループ課題では、企業を1つ選択し、分析テーマを決めて提案を行い、プレゼンする。発表までに先生と話して、このテーマでいいかアドバイスをもらえた。
感想を自由記入	先生はアクセンチュアでコンサルタントをされた経験を持つ実務家のため、戦略の計画・実行への実践的な話を聞くことができる。ケーススタディや記事の予習をもとに議論や解説が行われていく。授業内では、発言や活発な議論を求められることが多い。私は戦略に関する知識が浅かったので、少し苦戦した。グループワークで2人の男子学生が全く参加しなかったので、分担が増えて大変だったが、先生にそれを伝え、そのことを理解して評価をくれた。

履修した授業科目名③

Family Business

科目設置学部	BBA
履修期間	春学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1・2回(全15回)
担当教授	LAURA JIMÉNEZ FERNÁNDEZ
授業内容	同族経営の課題とどのように乗り越えて行くのかについて
試験・課題など	課題は個人で選択すると物語が進むシミュレーションを解く課題と、レポート課題 グループでは、1つの同族経営の企業を選び、授業で学んだロードマップ従って分析し、見つけた課題から今後の展開を提案し、発表、レポート提出。 最終課題は、同族経営のある学生は両親や家族に学んで感じたことのレポートを書く。
感想を自由記入	先生自身の家族も会社を運営されているため、先生の経験の話もある。 世界のあらゆる同族経営でのケースを見て、学ぶ。履修者も同族経営を行っている学生が多い。 私も家族が会社を運営しているので、自分と同じ立場の学生やその経験をした先生と話すことはとても意味があり、様々なケースを見て今まで見えていなかった考え方や価値観を得ることができた。

履修した授業科目名④

Designing Competitive Organizations

科目設置学部	BBA
履修期間	春学期
留学先の単位数	5ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1回(全25回)2限連続(160分)で授業があることが多かった
担当教授	MAUD PINDARD
授業内容	組織設計について
試験・課題など	個人課題では12 angry men という映画を見て、トピックに応じたレポートを書く。グループでは期末に

	1つの企業を決め、組織の抱える問題を分析し、提言する発表とレポート提出。 期末課題では、up in the air という映画を見た後に、問題に対するレポートを書く。
感想を自由記入	基本は講義形式で、理論の紹介が多く、ケーススタディや記事を読んで議論することも多かった。学習していなかった理論が多かったのが、少し追いつくのが大変ではあった。だが、映画を見てレポートを書く課題で、学んだ理論や考え方を具体的な事例のような形で見て、分析するのは面白いと感じた。
履修した授業科目名⑤	
Vivir en Español ; Español Práctico para Alumnos Exchange y Visiting / Living in Spanish : Practical Spanish for Exchange & Visiting Students	
科目設置学部	Language center (この科目は交換留学生用)
履修期間	春学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回 80分の授業が週2回(全24回)
担当教授	JULIO ANTONIO LÓPEZ RAJA 先生
授業内容	交換留学生向けの基礎的なスペイン語文法・語彙・会話
試験・課題など	課題は毎週指定された箇所の予習、穴埋めなど。 試験は中間試験のような振り返り試験が2回、文章を作る written test が1回、期末試験は試験と口頭試験(自己紹介を準備してビデオ録画を提出)、そして教科書の指定箇所を解いて提出。
感想を自由記入	語学の授業は6月下旬のレベル分けテスト結果に応じてクラス分けされ、授業開始後レベルが合わなかったら変更できる。 交換留学生向けの科目であるため、文法を一からというよりは会話で使えるような単語なども交えて学習する。科目名は違うが一年生が受けていた友人の Español 0.1 と内容がほぼ同じだったようだが、実践向け。生徒と先生の対話が多く、学部関わらず交換留学生が集まるので交友関係が広がる場でもある。授業は基本スペイン語で行われるが JULIO 先生は、交換留学生がより理解できるように英語を使って説明したり、質問に答えたりしてくださった。授業中ゲームをやることも多く楽しい雰囲気での授業だった。そして試験前には出やすいところをまとめてくださって、わかりやすい授業だった。しかし遅刻には厳しい。
履修した授業科目名⑥	
Organizational Behavior	
科目設置学部	BBA
履修期間	秋学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1~3回(全15回)
担当教授	KELLY NAULT
授業内容	組織行動に関する授業。明治大学でも学べるような組織行動、モチベーション、組織文化、組織変革などに関して学ぶ。
試験・課題など	毎回の課題に関しては次回の教科書に関する範囲を読む。また、個人でデジタルテキスト付属の問題を期末試験までに解く。 グループ課題で、中間試験の時期に教科書を読んで、それをもとに先生の示す問題についてレポート形式で解答する。一つの企業を選び、その企業の組織文化や組織変革、リーダーなどについて分析し、期末にプレゼンを行う。 試験は期末に全範囲の試験が行われる。個人課題のデジタルテキスト付属の問題が類似問題。

感想を自由記入	3年生の正規学生の必修科目のため、クラスに入って授業を受ける。私が受けたクラスは、授業中騒がしかったので先生が対応に困っていて、何度も授業が止まることがあった。だが、授業内の発言をよく求められ、発言を評価される。また、質問に関しても丁寧に答えてくれる。 明治でもすでに同様の内容は履修していたので復習のような感じだったが、よりアカデミックな論文や数字を用いたり、理論を示したりされて講義が行われたので、より勉強になった。
---------	---

履修した授業科目名⑦

Brand Strategy & Identity

科目設置学部	BBA
履修期間	秋学期
留学先の単位数	6ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1~3回(全30回) 2限連続(160分)で授業があることが多かった
担当教授	RAMON MENDEZ RODRIGUEZ 先生
授業内容	ブランドのマーケティング戦略、ブランディングについて学ぶ
試験・課題など	毎回の課題は授業後に具体的なブランドを調べたり、意見をプラットフォームに書き込んだりする。また、ペアを組んでの課題も多く、ケーススタディを読んでレポートを書く、授業後に習ったフレームワークを利用する1つのブランドを選び、分析するなど。 グループ課題では、ブランドのコンセプトやロゴ、ターゲットなどを一から詳細に決め新しくブランドを作り、それについての発表とレポート提出。 試験に関しては、授業で学んだフレームワークや理論などを用いて実際の与えられたブランドを制限時間内で分析する。
感想を自由記入	先生はユニリーバやコココーラなどの有名なブランドのマーケティングを担当された経歴があり、より実践的な学びが得られる。先生が手がけたブランドのことなどを例が示されることが多い。また、現在も現役で企業の中でマーケティングを行なっている方を招いて話を機会もあった。授業中に意見を求められることが多く、授業中や終了後に質問したことに答えて、授業に組み込んでくれることもあった。交換留学生がほとんどの授業だったので、世界各地のブランドについても議論や紹介することもあった。毎回の課題は多く、期末試験の難易度も高いがフィードバックも丁寧で、一番充実感があり、受けていて楽しい授業だった。

履修した授業科目名⑧

Advertising & Creative Strategy

科目設置学部	BBA
履修期間	秋学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1回(全15回) 2限連続(160分)で授業があることが多かった
担当教授	PETER THOMAS BOLAND 先生
授業内容	マーケティングコミュニケーションと広告戦略について
試験・課題など	個人の課題として、プリングルズやナイキ、シャネル、マクドナルドの中から1つのブランドを選び、その競合を例示して、最近の広告の分析と評価を行う。期末にグループ課題として、ある靴下ブランドの広告キャンペーンを考え、発表とレポート提出を行う。 期末試験はスーパーボウルのCMを見て、授業で学んだフレームワークを利用して戦略を再考して、提案するレポートでの試験。

感想を自由記入	先生はコココーラでのマーケティングのキャリアを持ちディズニーやマイクロソフトなどの企業と働いたこともある最前線で活躍されている。 授業の後半回では、授業内でグループでの広告キャンペーン立案を進める時間も増える。しかし、一からアイデアを出してストーリーを作って発表まで行うので、授業外での作業も多くある。私のグループは、最初はうまくいかなかったがアイデアが一番良いと評価され、優勝できたので、やりがいのある課題だった。余談ですが、先生はスコットランドのご出身だったので、アクセントに慣れるのに時間がかかった。
---------	--

履修した授業科目名⑨

Consumer Insights for Strategy

科目設置学部	BBA
履修期間	秋学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週2回(全15回)
担当教授	CELIA VELÁZQUEZ SANTIAGO
授業内容	消費者行動論について
試験・課題など	課題はペアで記事を読んで、レポートを書くことが2回。 グループ課題はマクドナルドを利用しない人の行動を、アンケートをとり分析し、提案を行う発表とレポート提出。 期末試験では、授業内容全般に関する試験で、習ったことを応用して分析を行う。
感想を自由記入	授業は主に講義形式。質問する暇がないくらい先生が話していてほとんどの学生が意見していなかったが、授業内での発言が重視されていた。 グループでの課題は、実際に Google Form でアンケートを作って、分析した。グループの人数が多かったので全く作業をしない人もいた。期末試験は、授業で習ったこと全般が範囲で、制限時間内で分析しなければいけないので、難易度は高かった。

履修した授業科目名⑩

Marketing for Sustainability

科目設置学部	BBA
履修期間	秋学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回80分の授業が週1回(全15回) 2限連続(160分)で授業があることが多かった
担当教授	GILLIAN ELIZABETH WILSON
授業内容	持続可能な社会実現のためのブランドのマーケティングについて 様々な業界のブランドの持続可能な取り組みや、持続可能とは程遠い実態について学び、ブランドがどのように持続可能な社会実現のためのブランドのマーケティングを行うべきかステップごとに学ぶ。
試験・課題など	毎回の授業では、ケーススタディを読むことが求められ、授業では意見が求められる。また、授業後に意見を投稿することが課題になることもある。個人課題で1つのブランドを選び、持続可能な社会に向けての取り組みができていないか分析し、提案を行う。 グループ課題では、1つのブランドを選び、持続可能な社会に向けての取り組みができていないか授業全体で学んだフレームワーク、ステップに沿って分析し、提案を行う発表と、プレゼンの提出。
感想を自由記入	先生は様々な業界の持続可能な取り組みやそうでない取り組みについて、数字や根拠を用いて詳しく説明して下さる。環境や持続可能な社会についての関心が高いヨーロッパや他の地域の学生たちが普段どのような意識を持っているかということについても勉強になった。留学前には取る予定のなかった授

	業で、様々な業界の文章などや環境関連の言葉が多く難しいが、学びになることが多く、受けてよかったと感じている。
履修した授業科目名 11	
ESPAÑOL 0.2	
科目設置学部	Language center
履修期間	秋学期
留学先の単位数	3ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1回 80分の授業が週2回(全24回)
担当教授	MARYAM ESMAEILPOUR 先生
授業内容	基礎的なスペイン語文法・語彙・会話
試験・課題など	課題はほぼなく、復習のみ 試験は中間試験のような振り返り試験が2回、文章を作る written test が1回、期末試験は試験と口頭試験(ペアを組んで、パートナーと事前に挙げられたお題について即興で話す)、そして教科書の指定箇所を解いて提出。
感想を自由記入	現地の留学生も受ける科目なので、春学期にうけた交換留学生のものに比べて急にレベルは上がった印象。しかし、クラスメイトは全員交換留学生だったので交流はしやすい。MARYAM 先生は、英語で授業を行うことが慣れていない感じで、内容のレベルが上がったこともあって、学生たちが混乱していた印象だった。授業全体の前半期間ごろに文法を終わらせて、後半はずっと Kahoot! でスペイン語の語彙選択クイズをやっていた。